

## クルーズ船で来訪する外国人向け「AI運行バス」の実証実験開始

～外国人向け初の実証を鳥取県境港市にて～

株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）は、JTB中国四国が受託した中国運輸局・山陰インバウンド機構の平成29年度広域周遊ルート形成促進事業「宿泊施設での外国人実態調査及び消費拡大のための実証調査」（以下、本実証）において、クルーズ船の外国人客を対象とした相乗りタクシー調査の提供に協力いたします。

JTB 中国四国は、2017年9月26日（火）と2017年10月6日（金）に、鳥取県境港市に寄港するコスタクルーズ社の「コスタ・ネオロマンチカ」の外国人客に対して、オンデマンド型相乗り移動サービス（SAV<sup>※1</sup>）を提供し、クルーズ船の寄港地における消費拡大の可能性について調査します。

ドコモと株式会社未来シェア（以下、未来シェア）は「AI運行バス<sup>※2</sup>」を実現するモビリティサービスプラットフォームの共同開発を進めており、JTB グループと観光向けの活用について検討してきました。本実証は「AI運行バス」の外国人向け活用として初の事例となります。

本実証のイメージを、2017年9月22日（金）に東京ビッグサイトで実施される「ツーリズムEXPOジャパン2017」のアクティブセミナーブースで展示いたします。このアクティブセミナーでは、「AI運行バス」の試乗デモを実施するので、ぜひご来場いただき本実証のイメージをご確認いただくとともに、「AI運行バス」をご体験いただければ幸いです。

また、本実証の外国人客には、境港市観光の際に、鳥取県と弊社鳥取支店で実施中の「テレビ電話による多言語観光ガイド実証実験」のアプリをご利用いただきます。

ドコモと未来シェアは効率的な交通社会を実現するモビリティサービスプラットフォームの2018年度中の実用化をめざし、さまざまな実証を進めていきます。

※1 未来シェア社が保有する配車システム、Smart Access Vehicleの略称。タクシー(デマンド型)と路線バス(乗合い型)の長所を融合し、ルートを固定せず需要に応じて乗合車両を走行させるシステムで、従来人間が行っているオペレータによる配車指示やドライバーの走行ルートの判断を人工知能(AI)によりリアルタイム処理する技術です。

※2 人工知能(AI)によるリアルタイム処理の活用により、需要に応じ、最適な時間に、最適なルートで、最適な運行を行うオンデマンドモビリティサービスのサービス名称です。ドコモと未来シェアは、「AI運行バス」を実現するモビリティサービスプラットフォームを共同開発しています。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社NTTドコモ 法人ビジネス本部 IoTビジネス部 先進ビジネス推進 ビジネス推進担当 TEL: 03-5156-3200